

みんなの夢の創造と実現のために……

星のゆめ

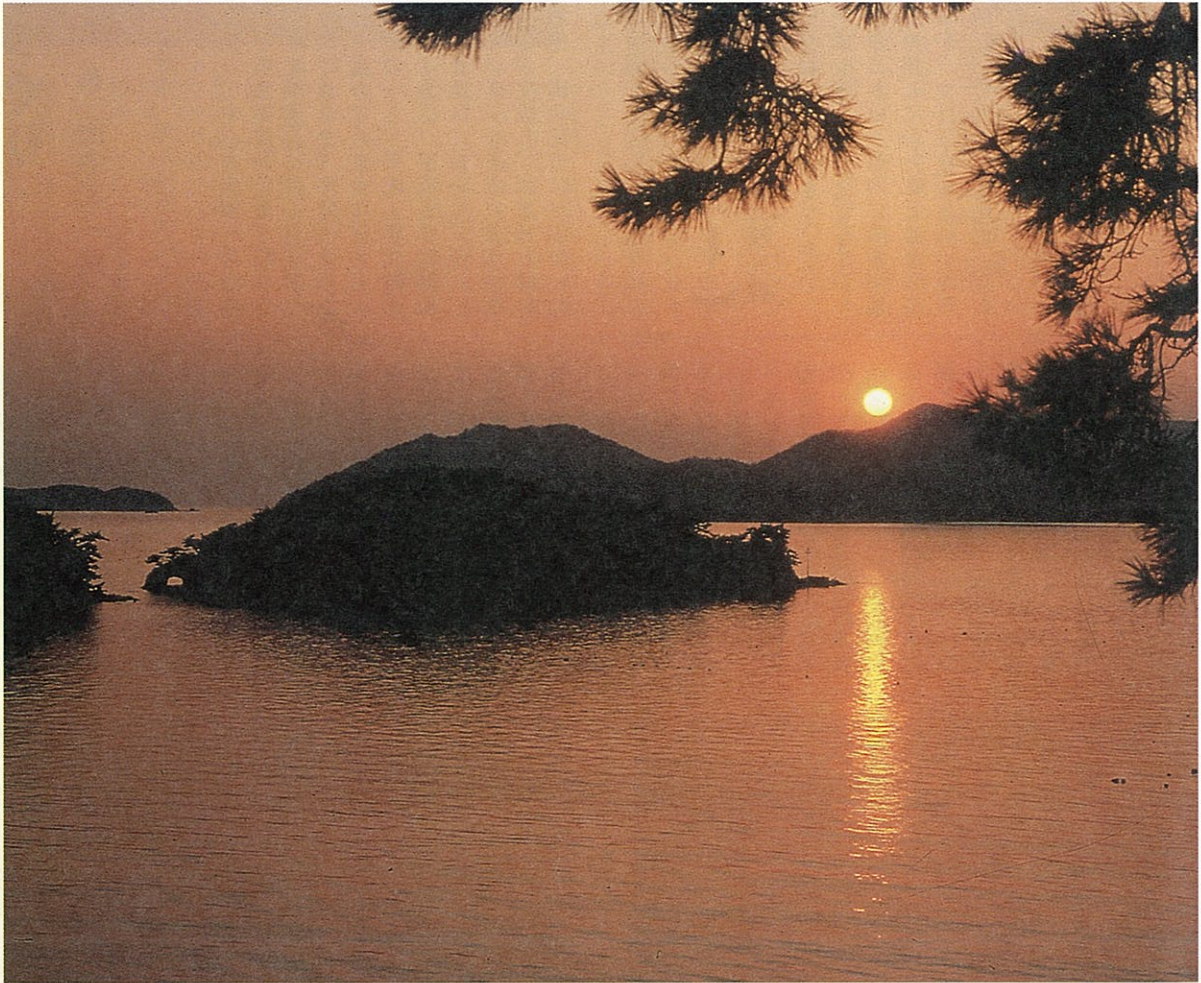
下松市観光協会
会報

VOL. 5

編集・発行／下松市観光協会

発行者／近間 幸雄

Phone 0833-45-1800 (内) 428



“四季さまざまに笠戸湾の夕映えは日本一”

週末2日制が定着して余暇の過ごし方が多様化すると思われた昨今、欧米のアウト型レジャーのきざしは見えるもののあいかわらずゴルフ、旅行、パチンコが主流を占めています。日本人は枠にはまった社会構造の中で安定し、これをしたら知識が増えるとか、お金がもうかるとか、おつき合いに必要とかの理由がないと、なかなか動かない特性があると先日読んだ堺屋太一氏の本にありました。しかしながら、テレビゲームで育った世代がどんどん社会に進出してくるようになると、余暇の遊びがハイテクを駆使したカラオケや各種アミューズメントに集中していくようになるように、本来遊びとは何かという概念がない以上遊びはそれぞれの人格で自由に考えるものかもしれません。人と物との出会い、人と人との出会いを柱とする観光産業の中に、一言ではとてもいいあらわせない遊びの心をどのような形ではめ込んでいくか大きなテーマになりそうです。“A”



21世紀へのまちづくり

下松駅南地区まちづくり
推進協議会

会長 田中孝一良

(銀座屋)

ここ数年、全国各地から数多くの人が視察に訪れて来られます。あいさつに「星ふるまち下松、笠戸ひらめPRしています、最近はそのに加えて、下松タウンセンター、下松駅南地区のリジューム計画で、全国的に下松市は有名になっているようです」と申します。

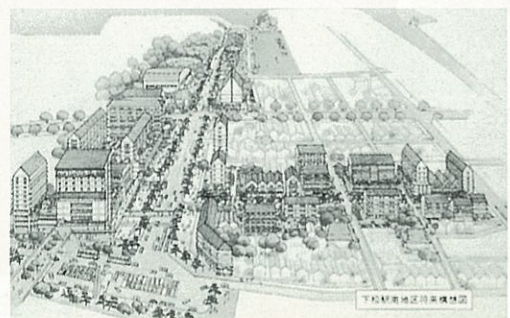
今、私たちが取り組んでいる下松駅南地区のリジューム計画は、下松市のシンボルゾー

ン構想の一角と位置付けられ、シティーゲートとしての役割を担い、中心商店街の再活性化と居住環境の整備を図ろうと事業が進められています。おかげさまで、官民一体となつて進めています。リジューム計画のうち、平成4年元町西II-I地区、平成5年元町西II-II地区において、統一したイメージを基本に個別強調建替が完成し、西本通り線の整備、街角部分には出会いの

広場をイメージしたポケットパークが完成いたしております。ハード・ソフト両面で、官民一体となつてまちづくりを進め、今、着実に街のイメージが変わろうとしています。自分たちの街の再生へ向け、今一步を踏み出したところで

『大きく見える計画も、最初はそこに住む一人一人の小さな思いから始まり、わずかなことの実行の積み重ねによつて、前進していくものである。』これからも、積極的に研究協議を重ねながら事業を推進していく所存ですので、皆様方のご指導、ご鞭撻を賜り

ますようお願い申し上げます。



工業と物流のまち 『周南工流シティー』

下松市経済部 商工観光課

山口県東部の物流、製造業の拠点として完成した『周南工流シティー』は、現在六〇区画のうち五六区画に企業進出が決定し、約三〇社が操業を開始しています。

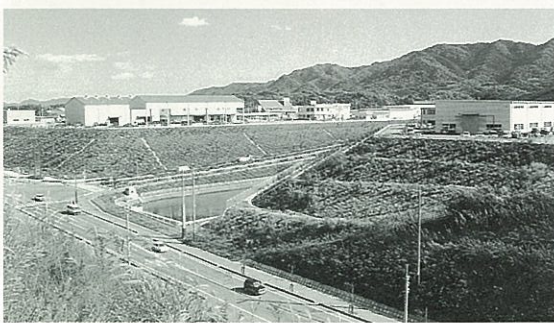
近年のきびしい経済状況を反映してか、県内の工業団地では空区画が目立つところや進出したものの建設着工が延期になったなどの報道を耳にしますが、当シティーは順調

に発展、充実してきており、大変心強く思っております。このことは、市内に関係用地が不足していたこともありませんが、やはり立地条件(地理的)の良さが大きな要因と思われ

この『周南工流シティー』は、平成元年に運輸省が全国物流ネットワークシティー構想をうちだし、それに下松市の総合計画がタイムニングよく

合致したことから、山口県と共に要望し全国15ヶ所のモデル地区のうち、中国地方で唯一地域指定を受けたものです。当シティーは県東部(特に周南地域)に物流拠点として期待が大きく、五六社が操業開始すれば、約一七〇〇人(新規雇用約五〇〇人)が従事する計画となつています。

市としましても、新卒者や若者のUターン就職の場となるような快適で魅力ある団地を目指して、進出企業と協力、連携していきたいと思つて



わしゃ、笠戸のひらめいの。この前の、光に新しいショッピングセンターが出来たの知つちよりますかいの。あんな中の、わしの仲間が、またまた「笠戸ひらめ」のブランドつけて出ちよりますよ。光の人達は、笠戸島によつて釣りに来よりますけん、笠戸の魚が旨いことは知つちよります。笠戸ひらめもきつと喜んでもらえると思ひます。『旨い』『美味』ちゅうたら今度の、福井の田村長さんが、ひらめの昆布じめ「ちゅう名品を売出しましたい。ひらめの身を、北海道の有名な昆布に漬けたり、削り昆布に漬け直したりして大層手間ひまかけて一生懸命作るんじやて。

それでの、綺麗な樽と箱に入れての一個七十グラムを三千円で売りよるそうです。七十グラム三千円が高いか安いかわしにやあ解らんけんどの、それだけ付加価値付けて売つてもらえりやあわしら嬉しいです。笠戸ひらめもよろしゅうたのみますい。

会員登録紹介 No.1

(株)井上商店

〒744 下松市葉山二丁目
電話 (0833) 四六一二二五

弊社は、萩市に本社を置き、「しそわかめ」、「うにめし」等の海産物の製造販売を行っております。メイン工場を油谷町と萩に構え県内4営業所、東京、福岡には、駐在員を置いております。周南には下松市生野屋に13年前に支店を構えお世話になっております。このたび「周南工流シテイ」の

物流区域に新支店を建設無事移転できました。これもひとえに皆様のおかげであると大変感謝しております。さてこの支店は全体的には、カナデアンハウスをイメージしております。何故カナダなのかと申しますと地勢学的にもカニ、鮭など高品質の物が獲れるということもありますが、



お国柄、国民性等の角度より見ましても大変魅力あふれる国と思えます。「人や自然にやさしい」カナダを最高のパートナーとして前進してゆきたいと考えております。周南支店の概要は一階は弊社の生産する「わかめ」「ふく加工品」に併せてメープルシロップ、菓子等カナダ商品を充分なスペースとは言えませんが陳列しており商品紹介の一助になればと考えております。

会員登録紹介 No.2

朝日屋 (省)

〒744 下松市大字末武上
電話 (0833) 41-0448

又併設しているレストランではできるだけカナダ水産物のよさがわかってもらうことを目的としております。両スペースとも一般の方はもちろん入れますのでぜひともお越し下さい。支店2階の多目的ホールではカナダをテーマにした催事を開きその社会・文化も紹介したいと計画しております。これからも井上商店を製品同様よろしくお願い致します。



山口県の優れた郷土の特産品として奨励賞を受賞しました「笠戸島ハープソーセージ」。下松市笠戸島開発センターと共同開発され、弊社にて製造しています。

セージやローズマリーなど笠戸島産のハーブ五種類をたっぷり入れ、新鮮な豚肉を使い、弊社独特の手づくり製法で仕上げた本格ソーセージ。「国民宿舎大城」「家族旅行村」「ザ・モール周南内の味街道」他市内の贈答品店で販売されています。

又、結着剤や保存剤、発色剤などを使わない無添加ロースハム「星ふる街」が本物志向や健康志向のお客様に人気を呼んでいます。ご注文を受けてから完成まで約二週間かかり真空パックされているが二週間程しかもちません。又、塩分や脂肪分、スパイス、スモークなど、お客様の注文に応じて製造しています。

昨年はオランダのユトレヒトで開かれたハム、ソーセージの職人のオリピック「スラバクト94」に初めて挑戦!!五部門に出品した製品すべてが銀メダルに輝く快挙を果た

しました。三年に一度開催される見本市で、二十七回目の今回はヨーロッパを中心に十数ヶ国の約五千人が出品した中から選ばれました。

「笠戸島ハープソーセージ」ロースハム「星ふる街」受賞した五品目(ロースハム、ペーコン、チローラ、ピアソー、シンケン)やハーブワインナー等々、安田工房にて、丹精こめて製造しております。この歳末ギフトには、是非、本物志向の「朝日屋」の手造りハム、ソーセージのギフトセットよりお選びください。



星ふるまち下松

★千四百年祭にあたって

★ 妙見宮鷲頭寺 住職 杉原孝俊 ★

今から千四百年前の推古三年（五九五年）九月十八日の大星落下の日本はどのような時代であつたらうか。

都は天皇により転々と移動し、世の中には天変地異がおこり、讖緯思想が全国に蔓延していた。

このような時、大空から大星（隕石）が舞いおりに来た。

そして松の木の上で七日七夜満月のように輝いたと言ひ伝えられている。

平成七年十一月十日（旧暦



九月十八日）が千四百年目にあたる。現代でも隕石が落下すれば新聞、テレビで大々的に報道されます。推古三年の昔には、それはそれは大変な出来事であつたと想像できます。松の木に落下した隕石を見たさに多くの人が集まり、その時、突然一人の人が大声で何やら呼び出してごらんなどい。周囲の人は驚いて、その人の声に耳を傾けたと思ひます。

“僕は妙見じゃ、北斗の精じゃ、百済の国から王子が来る。三年後かならず来る。都に知らせよ、早く都に知らせよ”
そして大星落下と予言はすばやく、推古天

皇と聖徳太子に伝えられた。その地はその後降松となり、その予言どおり百済国の王子琳聖太子が防府の多々良浜に推古五年三月二日に着かれた。

琳聖太子は推古五年九月九日より九月十八日まで下松の妙見さまで日本で最初の星まつり、星供養をされました。

琳聖太子は聖徳太子、推古天皇と会い、日本の基本的な制度造りの手助けをされた。

その後、琳聖太子の子孫は山口県を支配した大内氏となる。

一九九五年は大星降臨千四百年祭、一九九七年は琳聖太子渡来千四百年祭である。

十一月十日は予言があつて千四百年目にあたり、その日の午後六時より千四百本のロソクの光をもって星の祭典をいたしました。当日参加された皆様ありがとうございました。



星ふるまち 1400年 7月7日

7・7・7 コンサートを終えて

トリプルセブン コンサート実行委員長 大橋 広 宣

星が降つて千四百年目に当たる今年、意義ある年を歌声で飾ろうと、星ふるまち1400年・星とうたおう！777（トリプルセブンコンサート）が七月七日、ザ・モール周南で開かれ、三百人の大合唱団が夜空を彩りました。私は事務局を担当させていただきましたが、この企画が持ち上がり、近間会長を委員長に実行委員会が発足したのはわずか一カ月前。地上8mのモールの大ベランダに大合唱団が並び、平成七年七月七日と“7”が三つ並ぶ日に歌声で千四百年を祝おうと、周南の各合唱グループ、市内PTAコーラスなどたくさんの方々の協力を得て、大成功に終えることができました。ペランダにズラリと並んだ大合唱団は壮観で、「潮騒と星のまち」「七夕さま」などを会場と一体となって歌

い、感動的なイベントになることができました。降松星太鼓、下松女声合唱団、鈴木メソードの幼児のバイオリンアンサンブルも出演し、大好評でした。私自身も「音楽ついでいな」と再認識しましたが、これで終わらず、来年、再来年と続け「下松の新しい名物イベントにできたらいいな」と思っています。

「7」が三つ並ぶ日に歌声で千四百年を祝おうと、周南の各合唱グループ、市内PTAコーラスなどたくさんの方々の協力を得て、大成功に終えることができました。ペランダにズラリと並んだ大合唱団は壮観で、「潮騒と星のまち」「七夕さま」などを会場と一体となって歌



一歌おう、踊ろう、 緑の中で世界を結ぶー

「米泉湖音楽フェスティバル'95」
今年は音楽を通じての国際交流に無情の台風直撃!!
それでも会場を花岡公民館に変えて **大盛況**
花岡米川観光推進委員会 委員長 中村隆征

米川、花岡の地域おこしの一環として地元ボランティアの皆様の御尽力のおかげで、毎年9月23日に行なってきた米泉湖音楽フェスティバルも、5年目にして悪天候になされました。しかも下松直撃の台風、朝から大雨と強風、やむなく会場を花岡公民館へ移さざるをえませんでした。

今年のスローガンは戦後五十年を迎え、改めて平和の大切さを認識し、音楽を通じ、異文化に接して国際交流を深めようという事で準備期間から県内各地のいろんな外国人のサークルへ度々顔を出したりして盛り沢山の企画を考えていたのですが……

それでも当日は狭い会場（公民館）で山口大の留学生の皆さんの歌や踊り、山口県フォークダンス協会の皆さんの御協力により楽しいダンスの共演、市吹奏楽団と降松太鼓のジョイント、各種バザー



など盛り上がりを見せました。空の下で、おもしろい音楽を通じての国際交流を深めたいと思います。



音楽隊「小周防もちつき」を企画。メインステージは、終日、「降松星太鼓」「自衛隊音楽隊」

「地元バンド演奏」下松初のじよんがら三味線「みちのく歌謡ショー」多彩なイベントで賑いを見せた。

OH! OH! フェスタを終えて 有田英作

三年目を迎えたOH! OH! フェスタ。

「亥年は、荒れる。」の言葉通り今年も、年初めに、阪神大震災。祭りを自重して小さくするか? とか色々意見が出たが、阪神大震災の義援のため大和町商工会青年部の大鍋を使って「ジャンボふぐ鍋」

「切戸川の夜桜のライトアップ」も定着して、山口県の桜の名所でも紹介されるようになり周南地区の穴場スポットにまでなった感もある。今年も協力頂いた全ての皆さんに感謝。そして、切戸川の桜に感謝。来年は……

お父さん、お母さんも がんばったよ!!

第七回笠戸島マリニックダレース

夏休み最後の日曜日（8月27日）はなぐり海水浴場で、第7回笠戸島マリニックダレースが開催され、周南地域を中心に県内から六十一チーム、約六百人に参加した。今年始めて新設されたファミリー部門ではお父さん、お母さんも大健闘。約五千人の観客から盛んな声援が飛んでいた。各部門の優勝チームは以下の通り。

レース結果

★タイムレース部門

海にいるあなたが好き

★レディース部門

イチゴフラツペ号

★デザイン部門

東陽章駄天クラブ

★ファミリー部門

小林功於・督尚親子

下松商工会議所青年部

イカダレース実行委員長

星田直樹氏談

『有難うございました。お疲れ様でした』と、右を向いても左を向いてもできます。社会に出て十一年になりましたが、随分昔の感覚で動かして貰ったという気持ちです。

クラブ活動的な感じで、楽しさと苦しみを経験できたと言っ



たほうがピンとくる感じで見栄も外聞もなく、只、事故無く成功させたかったと真つ直ぐに行動できた様に思えます。

市政五十周年で始められたイカダレースの七回目委員長として色々な方々と顔見知りになったことを感謝しています。これからも少しでも下松市の役に立てるように頑張っていきたいと思っています。

お知らせ

和太鼓ライブチャリティーコンサート

日時 平成八年二月十日（土）

開演 午後六時三十分

前売り 大人・高校生 二、〇〇〇円

小・中学生 一、〇〇〇円

場所 スターピアくだまつ

大ホール

お問い合わせ

下松市総務課 若田

☎四五一八〇〇代

KRY
江口雄二の
おびきまこま
Vol. 5

スタンド灯

なんだかんだと言いながら、平成七年もあとわずか。「今年を振り返りながらちよっと一杯…」ということで立ち寄ったのが元町にあるスタンド「灯」(あかり)。ママは、愛ち

やん。喫茶店から始めてこの道一筋に20年。今の世の中、女手一つでここまで続けるには、相当の辛抱と努力が必要。ママのシャネルの19番の口紅、シックな赤いドレス、そしてやさしく包み込む柔らかな照明が融合し、店全体を落ち着いたムードに演出する。その雰囲気は最高に心地よく、すぐに酔ってしまいそう。

さらにママの歌のセンスは抜群、美空ひばりの「車屋さん」なんかは痺れどおし。それもそのはず、今でも週一回お稽古で三味線を習っており、音感、こぶし、姿勢などの全てが申し分なし。釣りも大好

きで、上関では75cmのスズキを釣ったこともあるとか…。そんな意気軒昂なママが今夜もお客さんを「灯漬け」にしてしまう……。



奈々子

続いて千鳥足で暖簾をくぐったのが小料理店「奈々子」。入った途端、カウンター冷蔵ショーケースに並ぶたくさんの地元産海の幸、山の幸の種類が多さに驚かされる。

その新鮮で輝くような材料をふんだんに使い、料理名人の奈々子ママがお客さんの要求に応えて、あつという間に料理してくれる……。

奈々子のナナにちなみ、今年(平成七年)の七月七日午後七時七分、お客さん達で組織する「奈々子応援会」が、約百五十名集まり、開店七周年を祝ってくれたとか。

美人ママ&究極の料理が評判を呼び、店内の十七席はいつも満杯。出張の常連さんも多く、名古屋からのお客さんは毎年千支の絵を焼き入れた高級瓦を届けてくれており、奈々子人気はもう全国区。

小さい頃からお父さんに教わった抜群の包丁さばきと、「単身赴任のみなさんのために日曜も営業してますよ」とい

う優しい心遣いが相俟って、ますます商売繁盛中！フレイフレー奈々子。(定休日火曜日)



編集後記

不況不況の声が大きくなるなか、今回は「動」をテーマに我が街の元気あるとらしくみにスポーツをあててみました。これからも続けるつもりですので、頑張っている会員さんを紹介して下さい。自選他選をとわず役員か事務局の方へご一報下されは幸せませす。

魔の数字、視聴率との戦い。テレビ局に出入りする者にとって、悪魔の様に重くのしかかる数字が、この視聴率なのだ。

魔の数字『視聴率』

この数字の算出は、専門の調査会社の社数がやっけているらしい。

お昼の「おもいっきりテレビ」に初めて出た八年前

の視聴率は、三・二%であった。一年後同局が、山本コータローさんから、みのもんださんにバトンタッチする時、担当ディレクターが「みのさん何

三池孝尚

の14%を超えてしまったのだ。

番組を多勢の人々に見て欲しい。どうすれば、人気番組になるのか。

常にこの数字との戦いに明

とか、CXの半分の7%には乗せて欲しいのだが……。と話していたそうです。そのCXとは、若者に人気のあるあの「笑っていいとも」である。

ところが、二年目で何と倍々暮れているのが厳しい現実なのである。

ちなみに、東京での数字の1%は、約百万人にあたると思う。つまり「おもいっきりテレビ」に顔が出れば、全国で一千万人以上の人々が、私の顔を見ている計算になる。顔だけは売れるわけだ。

その顔をどう大切に生かすことができるのか。タレントの人間性が、問われるところだ。